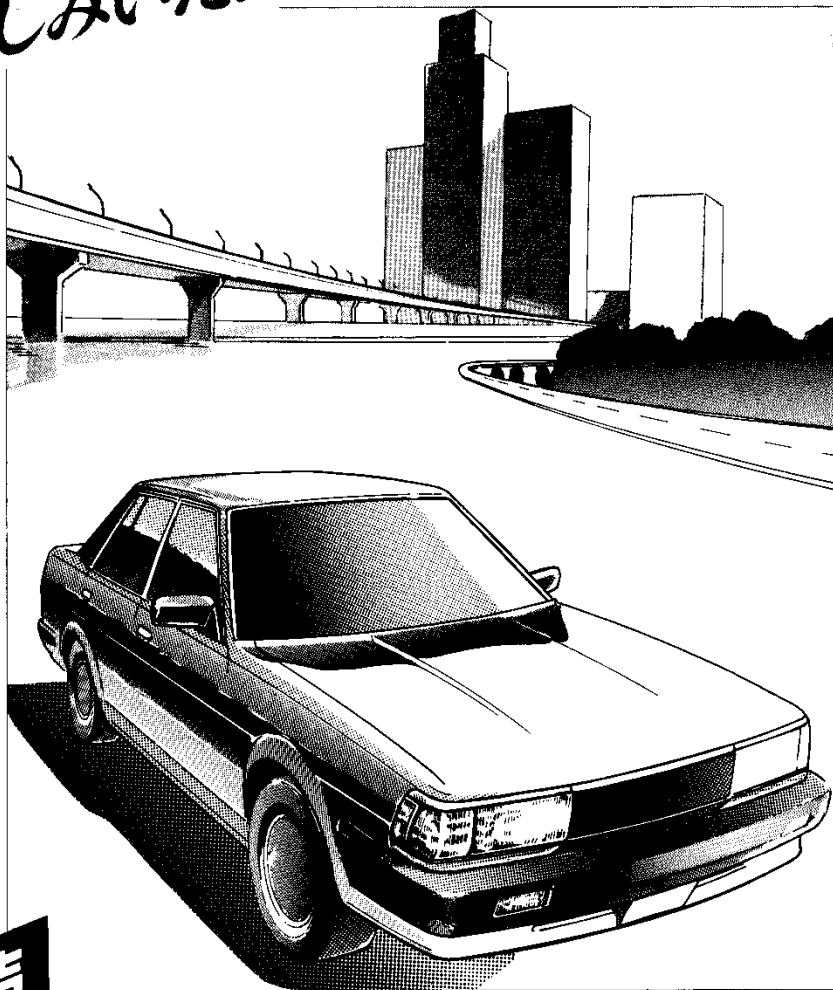


マークIIとともに、
より安全・快適なカーライフを
お楽しみいただくために



必 読

これだけは知っておきましょう。

マークII独自の装備、取り扱い方法もあります。

ドライバーとしての義務・マナーを大切に、以下のカラー・ページを

「安全・快適走行」のためのチェック・リストとして

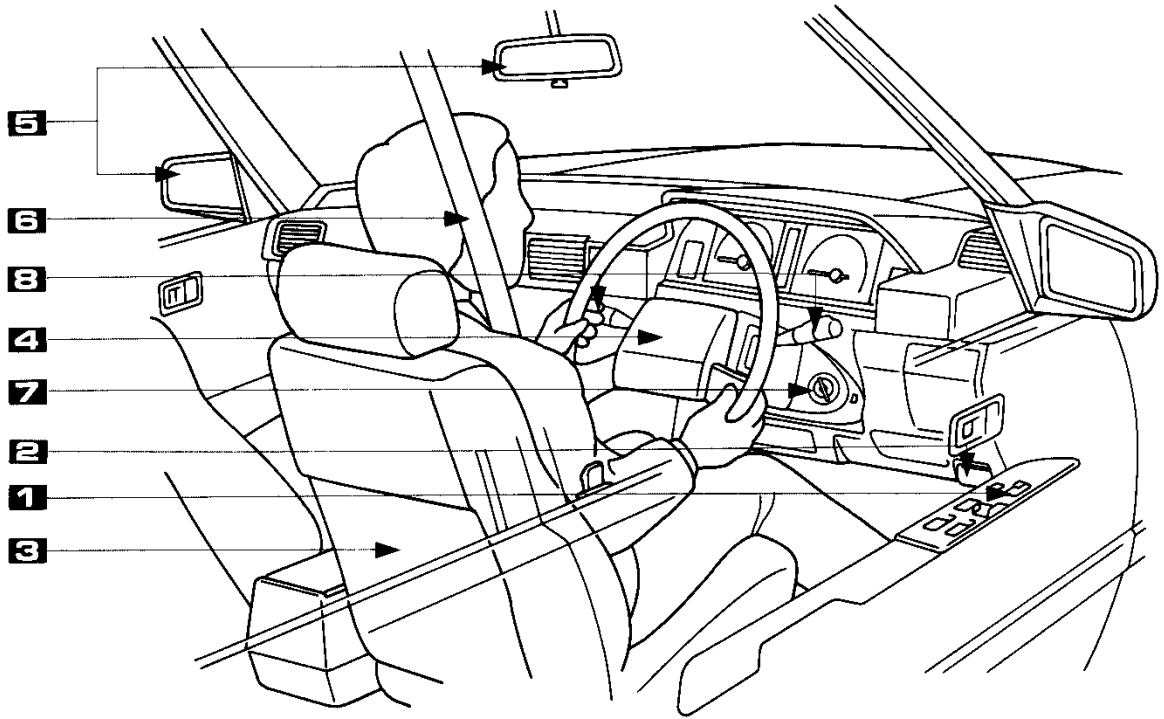
ぜひともご活用ください。

マークⅡの基本操作要領

(詳しくは、本文をご参照ください。)

まずは、あなたの指定席「ドライバー・シート」に腰をおろして…

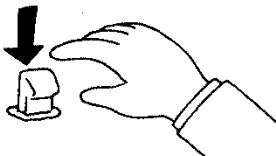
必読 / これだけは知っておきましょう。



1 ドア、ウインドウ(18ページ)

走行中は必ずドアをロックしましょう。

また、LG(ワゴンは注文装備)、GRのウインドウは各ドアのスイッチ操作で開閉できるパワー(電動)・ウインドウです。

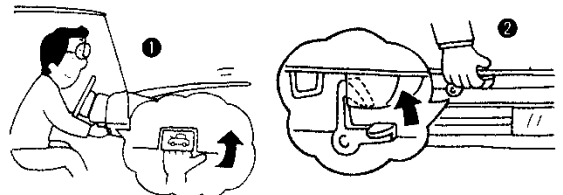


走行中は必ずドアをロックしましょう。お子さまを乗せたときはLOCK側にしましょう。

2 ボンネット(運行前点検)(21ページ)

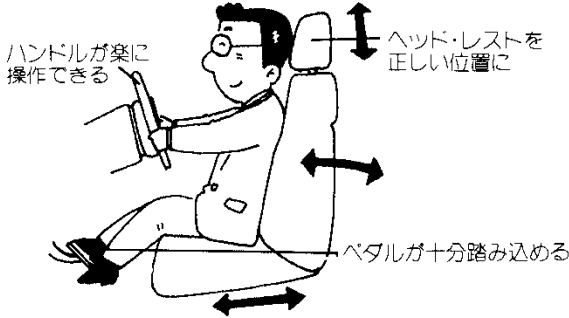
ボンネットの開け方は

- ①計器盤右下のレバーを引く。
- ②ボンネット・ロックをはずす。



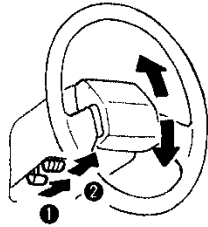
3 シート調整(25ページ)

- ①ペダルが十分踏み込める。
- ②ハンドルが楽に操作できる。
- ③ヘッド・レストが耳の後方で、頭との間隔がにぎりこぶし以下である状態に、走行前に調節してください。



4 ハンドル位置調整(30ページ)

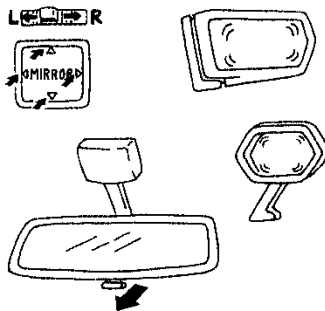
ハンドルは、角度調整ができます。(DX、STD、LPG車を除く)
走行前にハンドル操作がもっとも楽な位置に調整してください。



- ①のレバーを引いている間、ハンドル位置を上下に換えられます。
- ②のレバーを引くと、ハンドル全体が上段までハネ上がります。

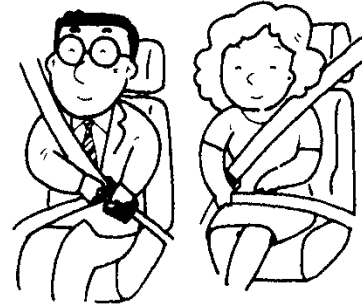
5 ミラー調整(30ページ)

走行前に、後方、左右がもっとも確認しやすい角度に調整してください。



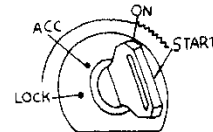
6 シート・ベルト(28ページ)

シート・ベルトは必ず装着してください。装着のときは、腰部ベルトを必ず腰骨の位置に装着してください。妊婦、疾患のあるかたおよびお子さまの装着は危険な場合があります。

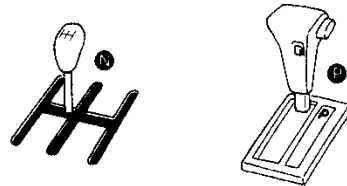


7 エンジン始動(34ページ)

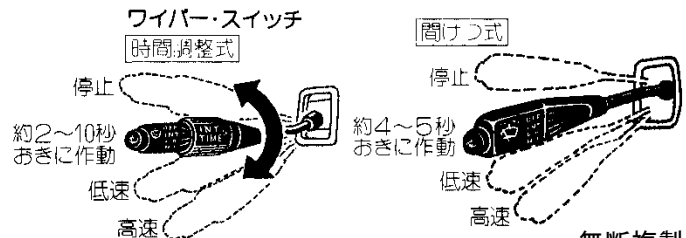
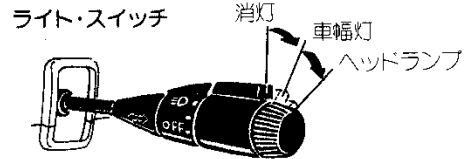
エンジン・スイッチの各位置は図のとおりです。



- ①エンジンを始動する前にパーキング(駐車)・ブレーキをかけるか、ブレーキ・ペダルを踏み続ける。パーキング(駐車)・ブレーキには足踏み式もあります。☞42ページを参照してください。
- ②マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車はN(中立)、オートマチック・トランスミッション車はP(駐車)にはまっていることを確認してください。



8 ライト、ワイパー・スイッチ(43ページ)



必読！これだけは知っておきましょう。

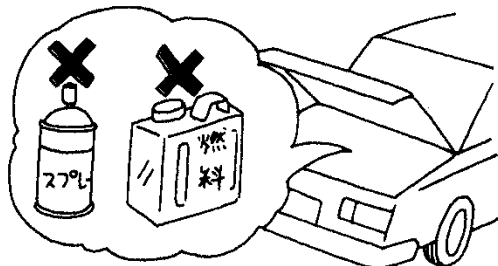
必読！これだけは知っておきましょう。

「準備よし！」までの

Check Point

積んでいませんか？

危険物は持ち込み禁止です。



車内、トランク内および荷室内に燃料がはいった容器やスプレー缶を持ち込まないでください。

蒸発ガスに引火したり容器が破損すると非常に危険です。

手荷物に「高さ制限」あり。

荷室の手荷物は後席背もたれの高さをこえないように積み、確実に固定してください。後方、側面の確認ができなくなり、急ブレーキで荷物がとび出すなど危険です。

いれていませんか？

有鉛ガソリン、粗悪ガソリンお断りです。

ガソリン車

ガソリンの補給は、必ず無鉛ガソリンにしてください。有鉛ガソリンやトヨタ純正品以外のガソリン添加剤を使用すると、触媒装置を損ないます。

また、粗悪ガソリンを使用すると、エンジン各部に悪影響をあたえますので注意してください。

ディーゼル車

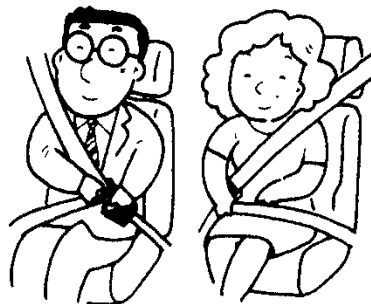
必ず軽油を補給してください。

LPG車

LPガスを補給してください。LPガスの充てんはスタンドの係員にまかせてください。LPガスの充てんについては95ページを参照してください。

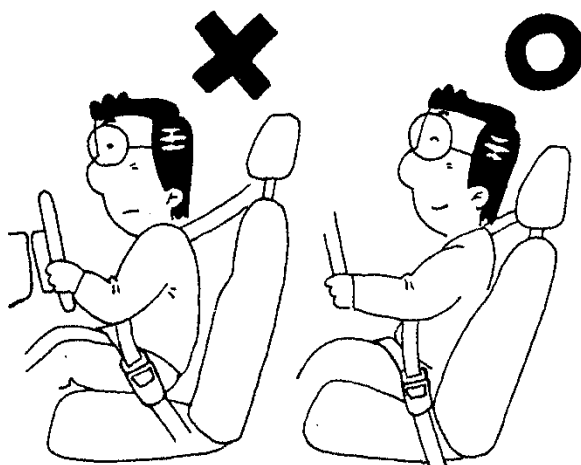
忘れていませんか？

シートベルトは必着です。



正しい装着方法は28ページを参照してください。

ヘッドレストは高すぎず、低すぎず、頭との間はあけすぎず。

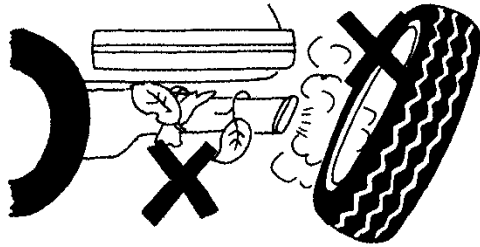


「エンジン始動、さあ出発!」までの

Check Point

確認しましたか?

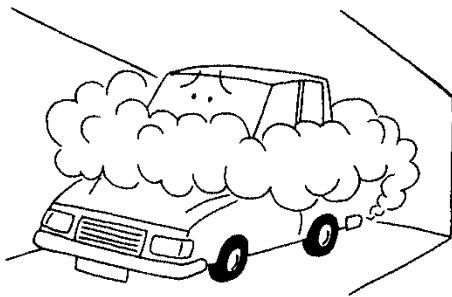
車両後方、排気管にからんだ可燃物は危険です。



始動前に車両後方に燃えやすいものがないか、排気管に枯れ草などが巻きついていないか確かめてください。

危険はありませんか?

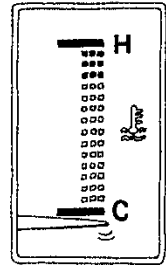
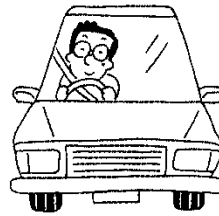
密閉した車庫内でエンジンをかけたままにしない。



ガス中毒を起こす危険があります。やむをえない場合は、必ず換気をよくしてください。

暖機は適切ですか?

水温計の針が動き出す程度で十分です。



長すぎると燃料のムダになります。

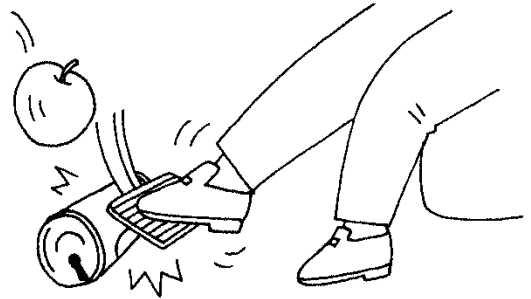


ちょっと一言

1. 暖機運転中はもちろん、エンジンが回っているときは車から離れないでください。
2. 暖機運転中は回転が高くなりすぎることがあります。始動後約30秒（外気温20℃のとき）で、アクセル・ペダルを軽く踏んで足を離し回転を下げてください。〈ガソリン1800cc車〉

こるがる物はありますか?

運転席付近に物を置くと危険です。



フロアにこるがってブレーキ・ペダルの下にはさまり、ブレーキ操作ができなくなるなど危険です。無断複製禁止

必読！これだけは知っておきましょう。

「安全・快適走行」のための

Check Point

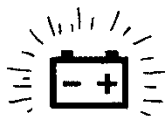
こんなときは要注意！

次のような警告灯、計器の警告を無視して運転を続けると、触媒装置を焼損するおそれがあります。

排気温警告灯または充電警告灯が点灯したら、安全な場所へ停止。



排気温

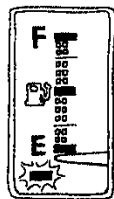


CHARGE

触媒装置の温度が異常に高くなっています。

必ず49ページを参照して、点灯時の処置を行ってください。〈ガソリン車、LPG車〉

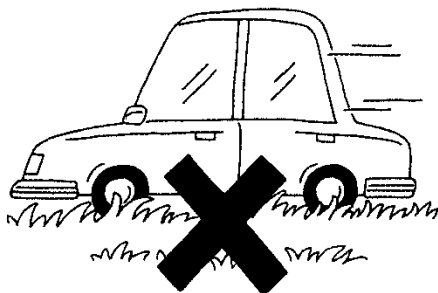
燃料計がE以下になる前に補給。



走らないで！

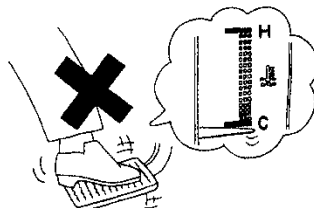
枯れ草、紙くずなど

燃えやすいものの上は走行拒否。



あおらないで！

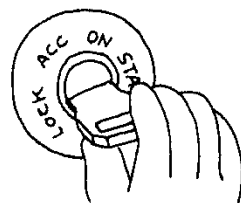
暖機不足の発進時、極端にアクセル・ペダルをあおらないでください。



未燃焼ガスが触媒装置に流れ、触媒装置を焼損するおそれがあります。〈ガソリン車、LPG車〉

切らないで！

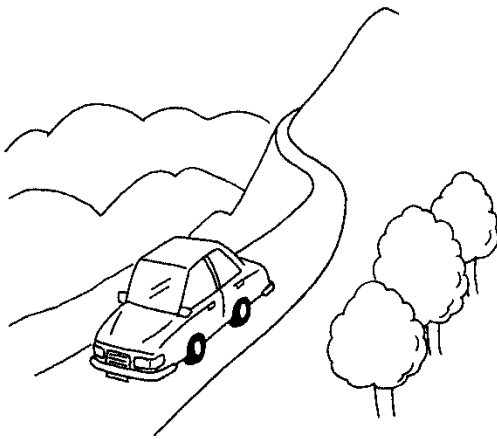
走行中はもちろん、高回転直後でもエンジン・スイッチを切らないでください。



1. 触媒装置を焼損するおそれがあります。〈ガソリン車、LPG車〉
2. 走行中エンジン・スイッチをACCまたはLOCKの位置にすると、
 - ブレーキの効きが悪くなります。
 - パワー・ステアリング(ハンドル操作力軽減装置)付き車はパワー装置が作用しないため、ハンドル操作が非常に重くなります。
 - LOCK位置にするとキーが抜けることがあり、キーが抜けるとハンドルがきれなくなり危険です。
 - 各種警告灯が作用しなくなり危険です。

必ず知っておきたいドライブ・テクニック

●長い坂道を下るときは



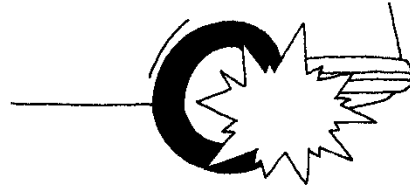
フット・ブレーキと エンジン・ブレーキ*1を併用。

1. フット・ブレーキを踏み続けると「ベーパー・ロック」*2や「フェード現象」*3を起こし、ブレーキの効きが悪くなることもあり危険です。
2. ぬれた路面または氷雪路での急激なエンジン・ブレーキの使用はさけてください。スリップの危険があります。

- *1 「エンジン・ブレーキ」とは、走行中アクセル・ペダルから足を離したときにかかるブレーキ力。低速ギヤほどエンジン・ブレーキはよく効きます。
- *2 「ベーパー・ロック」とは、ブレーキの摩擦熱によりブレーキ液が加熱されて、沸騰し泡が発生し、ブレーキ・ペダルを踏み込んでも、気泡を圧縮するだけで、ブレーキ力とはならない現象。
- *3 「フェード」とは、ブレーキの摩擦面が、加熱されると摩擦力が減るので、同じ力でブレーキ・ペダルを踏んでもブレーキの効きが悪くなる現象。

●高速走行中に

パンクやバースト(破裂)したときは



ハンドルをしっかりとって、
徐々にブレーキをかけてスピードを
落としてください。

急ブレーキをかけるとハンドルを強くとられ危険です。

●洗車後や水たまりを 走行した後は



ブレーキ・ペダルを軽く踏んで
効き具合を確認してください。

洗車後あるいは水たまり走行後は、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

効きが悪い場合は、前後の車に十分注意して低速で走行しながら、効きが回復するまで数回ブレーキ・ペダルを軽く踏んで、ブレーキの湿りをかわかしてください。

必読！これだけは知っておきましょう。

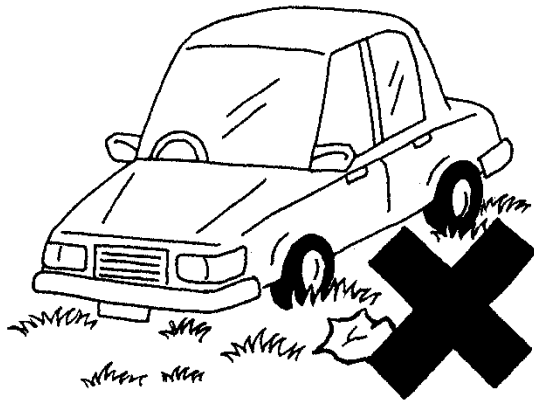
必読！これだけは知っておきましょう。

駐停車時の

Check Point

必ず確認「可燃物なし」

枯れ草、わら、紙、布、樹脂、油、古タイヤなど要注意。



ちょっと一言

1. 走行後の排気管は高い温度になりますので、燃えやすいものが近くにあると着火する危険があります。
2. エンジンを空ふかししたり、高回転を長く続けたりした場合には、排気ガスが燃えやすいものに当たり着火する危険があります。

車庫内停車は後方確認を第一に。



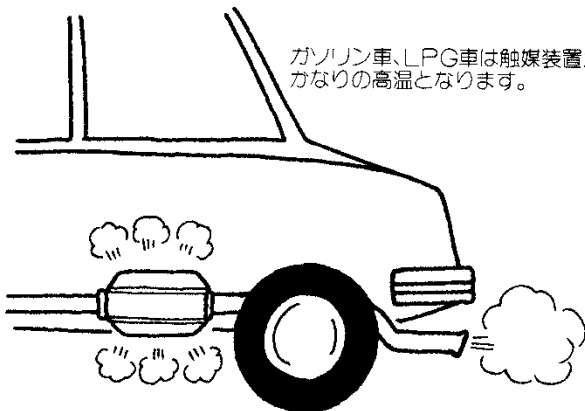
あらかじめ、燃えやすいものがないことを確かめてから停車してください。



ちょっと一言

1. 排気ガスは、場合によっては高い温度になるので、万一の場合わらなど燃えやすいものに着火するおそれがあります。
2. 木材、ベニヤ板などが車両後方にある場合は、車両後端を30cm以上離して止めてください。
すき間が少ないと排気ガスによって変色や変形したり、万一の場合着火する危険があります。

ガソリン車、LPG車は触媒装置がかなりの高温となります。



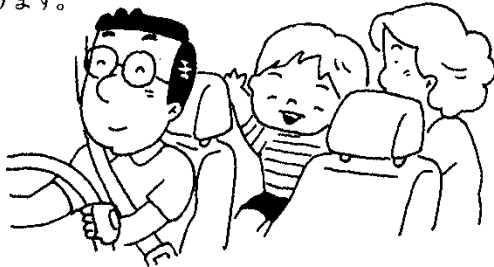
お子さまを乗せるときの

Check Point

お子さま専用席は？

なるべく大人と一緒にリヤ・シート。

フロント・シートだと万一のとき放り出される心配があります。

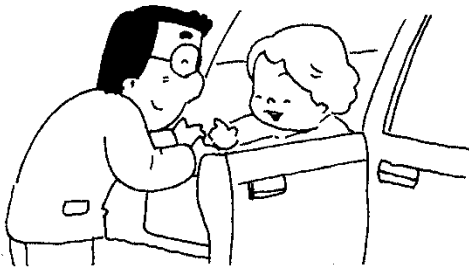


助手席ではお子さまの動作が気になり、安全運転のさまたげになります。

お子さまが、運転装置、装備などにさわると思いがけない事故が起きるおそれがあります。

車から離れるときは？

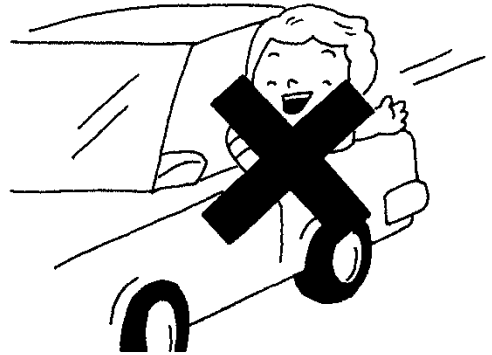
お子さまは必ず一緒に連れて出る。



お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの事故が起きるおそれがあります。また炎天下での車内はたいへん高温となり危険です。

危険です。迷惑です。

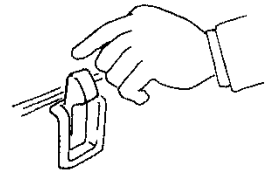
窓から、手や顔などを出させない。



開閉、確認大人の仕事！

ドアは確実に閉じ、必ず施錠。

お子さまをリヤ・シートに乗せるときはチャイルド・プロテクターをご使用ください。□19ページを参照してください。



ドア、ウインドウの開閉は必ず大人がしましょう。



お子さまが手をはさむ場合があり、危険です。また、パワー（電動）・ウインドウのスイッチは必ず大人が操作してください。お子さまがウインドウ・スイッチをいたずらして、手や首をはさむと危険です。お子さまを乗せるときは必ずウインドウ・ロック・スイッチ（21ページ参照）をご使用ください。

必読！これだけは知っておきましょう。

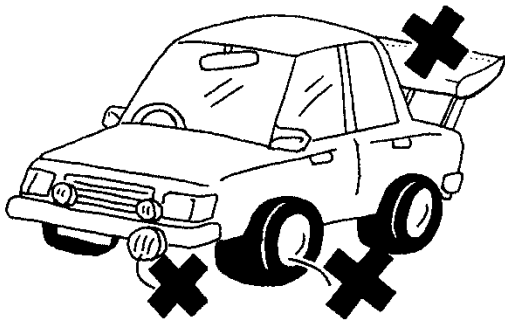
必読！これだけは知っておきましょう。

お車をダメにしないための



触れないで！

走行装置など重要個所の改造はしない。



車の性能や機能に適しない部品を装着すると、思いがけない事故が発生する場合があります。



トヨタが運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると違反になることがあります。アクセサリを取りつけるときは、トヨタ販売店にご相談ください。

自己流のエンジン調整、部品の取りはずしは行わない。

エンジン調整はトヨタ販売店におまかせください。

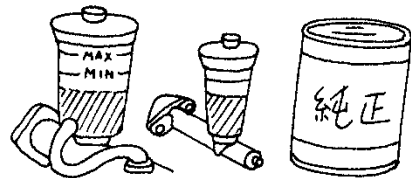
続けしないで！

パワー・ステアリング(ハンドル操作力軽減装置)付き車はハンドルをいっぱい回した状態を長く続けしないでください。

オイルの潤滑不良を起こし、パワー・ステアリング・ポンプを損傷するおそれがあります。

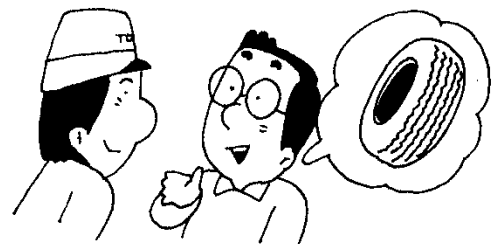
愛車はいつも健康ですか？

こんなときはトヨタ販売店で点検を受けてください。



1. いつもと違うおかしい音や臭いがするとき。
2. ブレーキ液、クラッチ液が不足しているとき。
3. 駐車してあった地面に油が漏れたあとが残っているとき。

タイヤを新品と交換するときは。



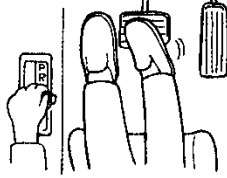
1. トヨタ販売店で相談してください。
2. 異なった種類のタイヤを混ぜて使用したり、指定サイズ以外のタイヤを使用することは車の安全走行に悪影響をおよぼしますので絶対にさけてください。

無線装置を取りつけるときは。

1. トヨタ販売店で相談してください。
2. 取り付け方法が適切でない場合、電子制御部品に悪影響をおよぼすことがあります。

おっと危ない気をつけて!

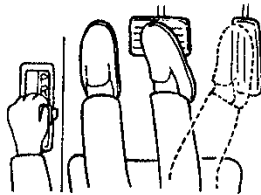
- 発進時オートマチック車のシフト・チェンジは必ずブレーキを踏んだまま!!



エンジン回転が高いとき(始動直後、エアコン作動時)は、ブレーキ・ペダルを十分に踏んでいないと車が動き出すことがあります。

シフト位置を確かめ、まわりの安全を確認してから発進します。

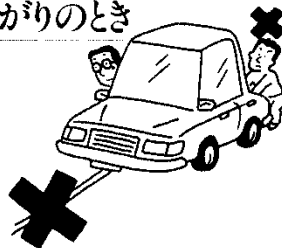
- オートマチック車の場合、ブレーキ操作は必ず



右足で行ってください。

右足をアクセル・ペダルにのせたまま、左足でブレーキ操作をすると、ブレーキの効きが悪くなったり、ブレーキ・パッドの摩耗を早めるおそれがあります。

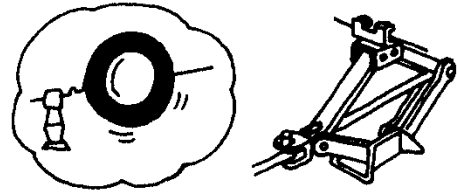
- バッテリーあがりのとき



車を押したり、けん引したりしてエンジン始動をしないでください。

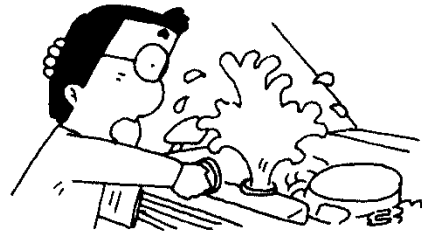
触媒装置の温度が異常に高くなり焼損するおそれがあります。□78ページの「バッテリーあがりの処置」を参照してください。

- ジャッキを使用するときは正しい位置にセットしてください。



また、パーキング(駐車)・ブレーキ、輪止め(搭載工具に含まれています)を忘れないようにしてください。□72ページの「ジャッキ」を参照してください。

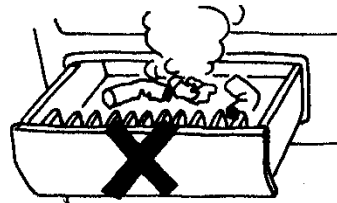
- ラジエーター・キャップが熱いとき



はずさないでください。

蒸気や熱湯が吹き出し、危険です。

- 灰皿を使用したあとは必ず閉めてください。



開けたままにしておくと、タバコの火が他の吸いながら燃えひろがり、火災になるおそれがあります。



ちよつと一言

1. マッチ、タバコの火は消してから灰皿の中へいれてください。
2. 灰皿には吸いながらをためすぎないでください。
3. 灰皿の中に紙くずなどの燃えやすいものをいれないでください。

必読 / これだけは知っておきましょう。

ターボ車の取り扱いCheck Point

ターボ装置の故障を防ぐため、必ず以下の点をお守りください。

定期的なオイル交換はターボ車の絶対条件！

- エンジン・オイルは必ず5,000kmごとに交換(けぞし6カ月をこえないこと)してください。



- オイル・フィルターは必ず10,000kmごとに交換してください。



ちよつと言

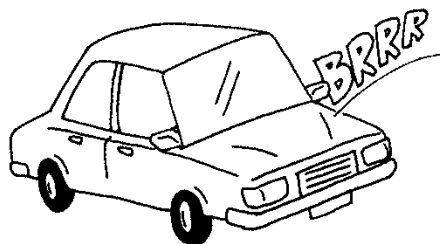
ターボ装置は、エンジンに大量の空気を過給してエンジンから、より大きな馬力を引き出すもので、非常に精密に作られています。毎分10万回転におよぶ高回転、700℃以上の高温下で使われ、その潤滑と冷却はエンジン・オイルによってなされています。したがって、定められたエンジン・オイル、オイル・フィルター交換をお守りいただかないと、劣化したエンジン・オイルにより、ターボ軸受部の固着、異音の発生など故障の原因となります。

- エンジン・オイルはAPI基準CD、CC相当で粘度分類10W-30以上のオイルを使用してください。

トヨタ純正キャスル・モーター・オイル・ディーゼラックス・スペシャルⅡ(CD)をおすすめします。

詳しくは「整備手帳」をご覧ください。

高速走行・登坂走行直後エンジンを止めないで！

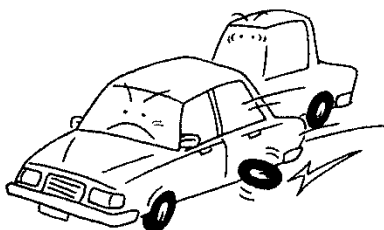


高速走行、登坂走行直後にエンジンを停止するときは、下表にしたがって必ずアイドル運転を行い、ターボ装置を冷却してください。

エンジン停止前のアイドル運転時間

運 転 状 況	アイドル運転時間	
市街地、郊外などの一般走行	必要なし	
高速走行	約80km/h定速	約20秒
	約100km/h定速	約1分
山岳ドライブ・ウェイなどの急な登坂路走行およびレース場など100km/h以上の連続走行	約2分	

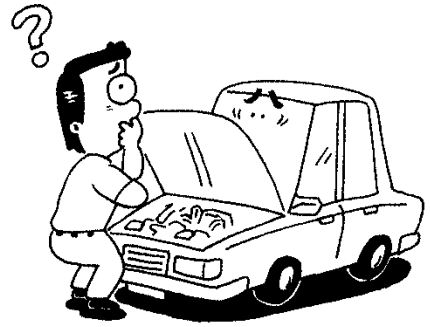
エンジンが冷えているときの空ふかし・急加速は絶対ダメ！



- マフラーなどには指定以外の部品を使わないでください。

必読！これだけは知っておきましょう。

こんなときは.....



必読！これだけは知っておきましょう。

- 朝エンジンがかからないときは.....78
- 走行中エンジンが止まったときは.....76
- バッテリーがあがったときは.....78
- オーバーヒートしたときは.....78
- 警告灯が点灯したときは.....49,50
- ランプ類が点灯しないときは(ヒューズ切れ、電球切れ).....80,83
- 踏切で故障したときは.....77
- 高速道路で故障したときは.....76
- 一般道路で故障したときは.....76
- 発炎筒を使うときは.....77
- 床下に強い衝撃を受けたときは.....77
- パンクしたときは.....72
- けん引するとき、してもらうときは.....79
- タイヤ・チェーンをつけるときは.....91
- 事故・故障のときの修理連絡先は.....「整備手帳」参照

こんな装備のお車に乗られているかたは.....



- オートマチック・トランスミッション車に乗られているかたは.....38
- エンジン・ヒーター付き車に乗られているかたは.....93
- LPG車に乗られているかたは.....95